

## 演習7-1 パーティションの特徴

### レンジパーティション

- ・パーティションごとに範囲を指定して振り分ける
- ・時系列のデータに対して、年や月など日付を条件にアクセスしたい場合に有効
- ・パーティションごとのレコード数をそろえておくと良い(キーごとの性能が偏る)

### リストパーティション

- ・不連続なデータを任意の値でグループ化したい場合に有効(社名とか地域とか)
- ・パーティション間の偏りが生じやすいこと

### ハッシュパーティション

- ・データをほぼ均等に振り分けることで、特定テーブルへのアクセス集中を回避したい場合に有効
- ・ハッシュ関数を用いてるので、範囲検索に向かない(ハッシュインデックスに近いイメージ)

\*種類に関わらず、検索などに用いるところでパーティションを用意しないとその恩恵は受けられない。

## 演習7-2 マテリアライズドビューの機能

マテリアライズドビューとは

データの実体を持ったビューのこと、そもビューは仮想テーブルであり実際のデータを持っていないが、マテリアライズドビューはSQLで取得したデータを使って即席のテーブルを作成してくれる。

\*ビューとの違い

- ・リフレッシュという処理が必要、マテリアライズドビューはデータの実体を持つので定期的に最新のデータに更新する必要がある。

- ・キーを定義できる、主キーを定義することでデータ検索の高速化が可能
- ・インデックスも作成できるため、より高速にデータにアクセス可能
- ・通常のテーブルと同様に容量を消費する